

当 初 予 算

若狭町 平成30年度

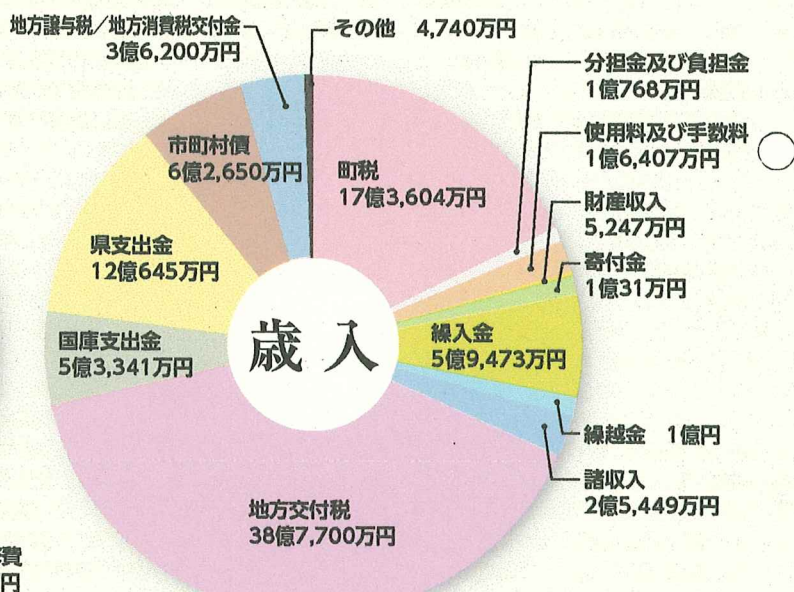
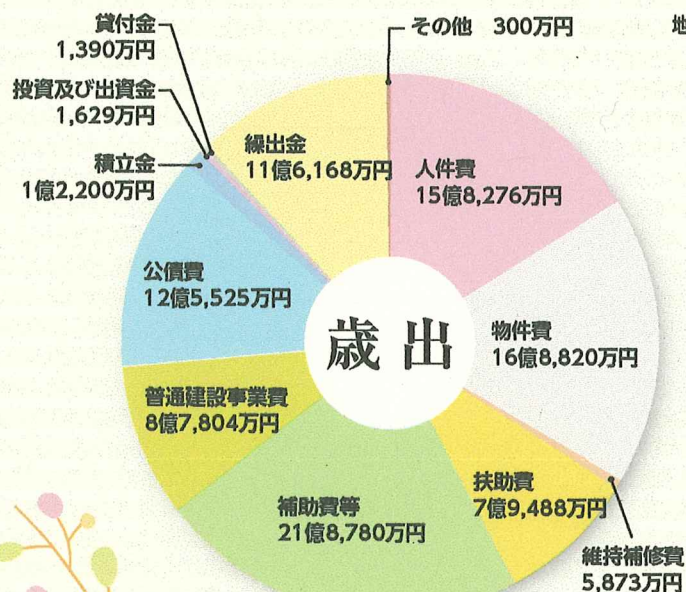
平成30年度の当初予算が決まりました。
一般会計は97億6,259万円で、前年度（6月補正後）に比べ0.8%の減額となっています。
また、特別会計は52億7,583万円、企業会計は13億5,902万円を計上しています。

一般会計 97億6,259万円

【数値について】

※広報では、万円単位で表示している関係上、端数が一致しない場合があります。

■性質別内訳



財政用語解説！ 歳出項目の性質別内訳について

人件費

職員給与や議員・非常勤報酬などの経費



物件費

賃金、旅費、需用費、委託料、備品購入費などの消費的性質をもつ経費

維持補修費

道路や公共施設などの維持補修のための経費



扶助費

社会保障制度の一環として、児童・高齢者・障害者・生活困窮者などに対する支援に要する経費

補助費

町から一部事務組合や各種団体等に対して交付するもので、負担金、補助金、交付金などの経費

普通建設事業費

道路、学校などの公共施設の建設や、用地取得等に要する経費

公債費

町の借金である地方債の元金と利子を支払う経費

積立金

財政運営を計画的にするための基金の積立に要する経費

貸付金

福祉増進や地域振興のためのお金の貸付を行うための経費

投資および出資金

企業会計、公社などへの出資金の経費



繰出金

一般会計から特別会計、企業会計の間で、相互に支出する経費



解説

歳出

全体として減額していますが、三方PAスマートインター整備が完了し、特に土木費が24.7%の減額となっています。商工費は企業振興助成金によって29.4%の増額となっています。上中中学校改修事業の継続により、教育費は昨年と同水準となっています。

歳入

町税収入は減少傾向が続いています。三方PAスマートインター整備の終了などにより国庫支出金が28.0%、町債が11.4%減額しています。企業振興助成金の財源として繰入金が24.4%増額しています。

総論

町税などの自主財源に乏しく、歳入の多くを地方交付税や国庫支出金に依存しています。これからも歳入・歳出両面からの財政改善対策に取り組み、持続可能な健全な財政運営を目指します。

行政分野別内訳

分 野	予 算 額	伸び率
議 会 費	8,963万円	△8.8%
総 務 費	13億1,331万円	△1.6%
民 生 費	23億1,072万円	△3.2%
衛 生 費	10億5,392万円	5.2%
労 働 費	2,244万円	2.8%
農林水産業費	12億3,918万円	7.5%
商 工 費	4億1,402万円	29.4%
土 木 費	6億4,557万円	△24.7%
消 防 費	4億1,327万円	10.1%
教 育 費	10億223万円	0.1%
公 債 費	12億5,525万円	△2.6%
予 備 費	300万円	0.0%



ことばの説明

特別会計

国民健康保険事業や下水道事業のように、保険料や使用料などの収入で運営していく事業について、その事業にかかるお金の流れをわかりやすくするために設ける、一般会計とは別の会計のことです。

特別会計 52億7,583万円

分 野	予 算 額	伸び率
国民健康保険特別会計	18億2,167万円	△10.8%
後期高齢者医療特別会計	1億8,613万円	10.0%
直営診療所特別会計	9,127万円	△3.6%
介護保険特別会計	19億2,999万円	△1.7%
簡易水道事業特別会計	1億4,546万円	△4.2%
農業者労働災害共済事業特別会計	164万円	△11.4%
農業集落排水処理事業特別会計	4億1,416万円	1.1%
漁業集落排水処理事業特別会計	6,574万円	70.5%
公共下水道事業特別会計	5億2,090万円	△7.6%
町営住宅等特別会計	3,380万円	△17.2%
土地開発事業特別会計	6,504万円	△32.8%

企業会計 13億5,902万円

分 野	予 算 額	伸び率
水 道 事 業 会 計	4億9,637万円	39.7%
工業用水道事業会計	6,671万円	△2.5%
上中診療所事業会計	7億9,594万円	△9.8%

ご紹介! 平成30年度の主な事業

わかさチャレンジプロジェクト事業

1,050万円

若者の起業(チャレンジ事業)を支援し、若者が活躍し輝く機会の創出と未利用資源等の活用による地域の活性化を図ります。

河内川ダム周辺整備事業

1,040万円

河内川ダム周辺の整備を行うことにより、ダム周辺の利活用、熊川地域の活性化、町の広域景観形成事業等の推進を図ります。

福井しあわせ元気国体推進事業

2,826万円

福井しあわせ元気国体の競技運営及び住民の手作りによる選手、応援者等へのおもてなしを実施します。

定置漁業・底曳網漁業振興対策事業 (農林水産課)

6,666万円

常神須崎定置網組合、神子定置網組合、小川大敷網組合の定置網の改良による漁獲量の増加により、経営基盤の強化を図ります。

学校・保育所規模 配置適正化事業

199万円

保護者や地域、学校の代表者、有識者などで構成する適正化検討委員会を設置し、学校規模配置の適正化計画を策定します。

上中中学校改修事業 (H28年度から3か年度継続事業)

2億1,464万円

学校施設の大規模改造を実施し、教育環境の充実と施設の長寿命化を図ります。